

市町村名 (市町村コード)	登米市 (04212)
地域名 (地域内農業集落名)	南方地区 (峯・板倉・沢田・青島・原・北本郷・大門・細川・裏大岳・北大畑・南大畑・大岳・松葉・梶沼・砥落・大袋・山成・狼掛・畑岡・柳沢・沼崎・一の曲・新高石・高石・苔下・苔上・平貝・須崎)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月26日 (第2回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

本地区は、東西に長く南北に狭い形状で北西部一帯は、緩やかな低い丘陵地であるが、東部と南部は、開墾によって水田化した低地帯である。輸入米に対抗できる付加価値を創出するため、JAみやぎ登米南方町水稻部会を設置し環境保全米の栽培に取り組んでいる。また、環境保全型農法の一環として、牛糞堆肥を使った米づくりを行い、稲藁を牛のえさにする資源循環にも取り組んでいる。一方で離農のため出し手が増えることから、1経営体あたりの耕作面積が増え、田植、草刈、稲刈などの期間的労働力の確保が課題となる。小区画、未整備農地については、作業を効率化できないことから担い手の負担となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

定年者のUIターン雇用や、兼業農家への業務委託契約などにより期間的労働力を確保するとともに次世代の担い手となる地元の学生向けに農業体験プログラムや出張授業などを行う。また、農業に関わっていない地域住民も含めて、農作業に参加いただけるよう、求人情報などを発信する。小区画、未整備農地については、2ha区画の再圃場整備を行い、効率的な営農を目指し、圃場整備できない農地については多面的支払交付金を活用し農地維持、資源向上に努める。こうした取り組みにより、農家戸数が減少しても農業法人等の組織化が進み、環境保全米はもちろんのこと付加価値のある農産物を継続的に生産する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	2,732 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	2,470 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方 (範囲は、別添地図のとおり)

--

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。